

病害虫防除

基本事項

- ◆安全使用基準を遵守すること
- ◆農薬は**施設**できる保管庫に収納すること
- ◆「みかん」は早生・青島等温州みかのみ、「かんきつ」はその他全ての柑橘類のことをさす
- ◆薬剤名欄の、**C**印は混用して散布することを示し、表の上から順に希釈するとよい
- ◆薬量は十分(600リットル/10a)かけ、散布ムラをなくすこと
- ◆農薬使用日、散布量等を**記載**すること

注意事項

- 注1: 不知火、ボンカン、日向夏、たまみ、はっさく等
- 注2: はるみ、甘夏、麗紅、レモン、黄金柑等
- 注3: マシユ油乳剤散布後にムッシュボルドーを散布するときの間隔は14日以上ムッシュボルドー散布後のマシユ油乳剤散布はすぐ実施してもよい
- 注4: 果実収穫前には散布しない
- 注5: かぶれ注意、肌の弱い人はマネーシDF 6,000倍を使用する
- 注6: 他の展着剤は使用しない
- 注7: 散布後90日収穫できないので注意する
お盆過ぎに黒点病防除を行う場合はナティーフロアブルを使用する
- 注8: 収穫間近にカメムシ防除を行う場合はスタークル顆粒水溶剤を使用する
- 注9: 早生みかんや年内に収穫する中晩柑には使用しない
- 注10: GP剤を使用するときは営農販売課に相談すること
- 注11: 花芽分化の妨げになるためマシユ油乳剤は2月に散布しない

時期	対象病害虫等	みかん	かんきつ		薬剤名	倍率等	安全使用基準		メモ
			かいよう病耐性 強注1 弱注2	橙			みかん	かんきつ	
3月下旬	かいよう病	○	—	○	○	ムッシュボルドー DF 注3	500倍	—	
4月下旬 (発芽後)	ミカンハダニ、ミカンサビダニ		○	○	▲	マシユ油乳剤 97% 注4	100倍	—	
	カイガラムシ類幼虫	○	○	○	▲	アブロードフロアブル 注4	1,000倍	14日-3回	45日-3回
	そうか病	○	○ボンカン	—	—	デランフロアブル(劇) 注5	1,000倍	30日-3回	
開花前	かいよう病	○	—	○	○	ムッシュボルドー DF	1,000倍	—	
落弁期	灰色かび病、そうか病、黒点病		○	○	○	クレフノン	200倍	—	
			○	○	○	ナリアWDG (Qol)	2,000倍	14日-3回	
自己剪定後	かいよう病	—	—	○	—	ムッシュボルドー DF	1,000倍	—	
6月上旬	ミカンハダニ		○	○	▲	マシユ油乳剤 97%	150倍	—	
	ミカンサビダニ、アザミウマ類		○	○	▲	アグリメック(劇)	2,000倍	7日-3回	
	黒点病		○	○	▲	エムタイファー水和剤	600倍	60日-2回	90日-2回
6月中旬	ゴマダラカミキリ(株元散布)		○	○	▲	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	400倍	14日-3回	
6月下旬	そうか病	○	○ボンカン	—	—	マネーシDF	6,000倍	30日-3回	
	かいよう病	○	—	○	○	ムッシュボルドー DF	1,000倍	—	
7月上旬	ゴマダラカミキリ(株元散布)		○	○	▲	クレフノン	200倍	—	
			○	○	▲	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	400倍	14日-3回	
7月中旬	カイガラムシ類		○	○	▲	スプラサイド乳剤40(劇)	1,500倍	14日-4回	90日-4回
	ミカンサビダニ、チャノキイロアザミウマ		○	○	▲	マツチ乳剤	3,000倍	14日-3回	21日-1回
	黒点病		○	○	▲	エムタイファー水和剤	600倍	60日-2回	90日-2回
8月上旬	熟期促進(1回目・満開70日後)	○	—	×	—	ファイゴン乳剤	3,000倍	熟期促進 2回	×
8月中旬	展着剤		○	○	▲	アピオンE 注6	1,000倍	—	
	ミカンハダニ、ミカンサビダニ		○	○	▲	ダブルフェースフロアブル	2,000倍	前日-1回	
	黒点病(おかしらみ)	○	—	○	注7	ベンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回	90日-4回
	黒点病(青探り橙希望者)	—	—	○	注7	ナティーフロアブル(Qol)	1,500倍	前日-3回	
8月下旬	熟期促進(2回目・満開90日後)	○	—	×	—	ファイゴン乳剤	3,000倍	熟期促進 2回	×
9月中旬	カメムシ類、ハマキムシ類、ミドリヒメヨコバイ		○	○	×	ロディー乳剤(合ビレ・劇) 注8	2,000倍	7日-4回	
	黒点病		○注9	○	×	ベンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回	90日-4回
台風前	かいよう病	○	—	○	○	ムッシュボルドー DF	1,000倍	—	
9月下旬	浮皮軽減(満開130日後)	注10	—	×	—	クレフノン	200倍	—	
			○	×	—	ジハレリン協和粉末	1ppm	45日-1回	×
			○	×	—	ジャスモメート液剤	2,000倍	—	
10月	ミカンハダニ、ミカンサビダニ		○	×	—	ダニエモンフロアブル	6,000倍	7日-1回	
	浮皮の軽減	○	—	×	—	クレント	100~200倍	—	×
収穫前	貯蔵病害		○	—	—	ヘフラン液剤25(劇)	2,000倍	前日-3回	前日-2回
			○	—	—	トップジンM水和剤	2,000倍	前日-5回	
	浮皮の軽減	○	—	×	—	クレント	100~200倍	—	×
収穫後 または3月	カイガラムシ類、ミカンハダニ		○	○	—	マシユ油乳剤 97% 注4,11	60倍	2月は避ける	
	樹勢回復		○	○	—	尿素	250倍	—	

散布種類の印 ○ 散布する ○ 発生した場合は散布する ▲ なるべく散布しない(エコファーマー認定) × 散布しない、かからないようにする — 散布する必要が無い

土壌改良・施肥基準

品種	施用時期	肥料名	施用量(kg/10a)		メモ	品種	施用時期	肥料名	施用量(kg/10a)		メモ
			安山岩	黒ボク					安山岩	黒ボク	
省力コース	極早生・早生	10月下旬	135			ボンカン	3月中旬	東部柑橘ベレット 066	90		
	青島	11月上旬	165				6月中旬	東部柑橘ベレット 066	105		
	寿太郎		195				11月中旬	オレンジライト	45		
	中晩柑	3月中旬	195				3月中旬	東部柑橘ベレット 066	90		
極早生・早生		3月中旬	75			甘夏	6月中旬	東部柑橘ベレット 066	90	75	
		6月中旬	45				8月下旬	スーパークイック	45		
		11月上旬	30				10月上旬	オレンジライト	45		
		3月中旬	90	75			3月中旬	東部柑橘ベレット 066	90		
青島・寿太郎		6月中旬	60			不知火・日向夏	6月中旬	東部柑橘ベレット 066	90	75	
		11月中旬	45				8月下旬	スーパークイック	60		
		3月上旬	75				10月上旬	オレンジライト	45		
橙		6月中旬	75			全品種	2月中旬	苔土セルカ2号	100		
		8月下旬	40					新ふりかけ堆肥eco	100		

苗木管理基準

管理時期	管理内容	肥料名・薬剤名	施用量・倍率	安全使用基準・備考	メモ
植付時	土壌改良	牛ふん堆肥 苔土セルカ2号 ようりん	10~20kg 2kg 500g	植え穴(直径50cm×深さ50cm)あたり	
3月下旬	施肥	CDU化成 S600	60kg/10a		
5月中旬	ミカンハモグリガ防除	アクタラ粒剤5	20g/1樹	2回(処理後要かん水)	
6月中旬	施肥	CDU化成 S600	60kg/10a		
7月下旬	ミカンハモグリガ防除	アクタラ粒剤5	20g/1樹	2回(処理後要かん水)	
害虫発生初期	ミカンハモグリガ、アブラムシ類防除	アトマイヤーフロアブル	4,000倍	14日-3回(成木も散布可)	
	ミカンハモグリガ、アゲハ類防除	エクシレルSE	5,000倍 100倍	前日-3回(成木も散布可) 育苗期-3回以内	
10月下旬	施肥	CDU化成 S600	60kg/10a		

農薬希釈早見表

希釈倍率	60	100	150	200	250	400	500	600	1,000	1,500	2,000	3,000	6,000
水100リットルあたり必要な農薬量(g,cc)	1,666	1,000	666	500	400	250	200	166	100	66	50	33	16
農薬100g(cc)でできる希釈液量(リットル)	6	10	15	20	25	40	50	60	100	150	200	300	600